

参考人 榊原秀訓教授（令和5年11月7日実施）

●結論（まとめ）

- 定数を削減しても住民の納得は得られず、議員定数削減の無限ループに陥る可能性がある。
- 根本的な問題として、政治不信に向き合わない限り根拠なき削減論は、断ち切れないのではないか。
- AI民主主義（議会不要）などの考え方に魅力を感じるようになっていないか。
- 議員定数を定める際には、今まで以上に判断の過程の透明性を高めて、**どのような考慮事項（価値）をどのように重視したのかを住民に示すしかない**と考えられる。また、長期的には議会の活動を通して、**議員への信頼を高めるしかない**と考えられる。

●考慮事項

1 地方行革と地方分権改革の影響

1980年代中頃から国が地方議会の「合理化」（議会定数削減・議員報酬適正化）を「地方行政改革」の中で求め、多くの自治体が議員定数を削減した。法定上限制度撤廃後も議員定数の削減傾向は継続し、いまや各議会が「自発的に」議員定数を削減している。

2 議会における多様性の強調

多様性とは、社会における多様な意見が地方議会に反映されることと、議員自身の多様性が考えられる。第33次地方制度調査会（総務省）の答申では、後者の重要性に言及されており、マイノリティ（少数派）を代表する議員が必要ということになれば、相当数の議員が必要との考えになる。また、女性議員が増えると民主主義の質が高まるとの考えもある。

3 政治的観点からの議員定数

ダメ議員が存在することから、少数精鋭の議員にするために議員定数を削減するという意見がある。また、精鋭（有能）であることと、選挙に強いことは異なり、少数になっても精鋭になるかは分からず、多様性や代表機能が犠牲になってしまうとの意見がある。

住民の意見を反映することは重要であるが、「根拠なき削減論」におされ、選挙での支持を得るために、議員定数削減を支持する議員も考えられる。また、議会等費用は無駄との要望が繰り返されて、デフレスパイラル的に議会機能が低下するとの考えがある。

行政職員削減の模範として、議員定数も削減すべきとする議論があるが、そもそも職員と議員の存在理由は異なり、行政職員は、非正規職員や外注により代替できるが、議員はそれができず、両者を同列に扱うことはできない。また、AIの活用が図られて、政治への活用についての提案もあり、決定はAIが行えば、議会での討議は不要（AI民主主義）との意見もある。

●結論（まとめ）

- 呉市議会の議員定数は類似団体（合併経験のある中核市）の水準からみて **1.5 人程度多い**。
- 過去2回の推定結果と比較すると、実績値と推定値の乖離幅が少し拡大している。呉市の人口減少率は類似団体平均と同程度であったが、**類似団体では議員定数を微減させる一方、呉市では据え置いたため、人口10万人当たり議員定数が相対的に増加した**。

●議員定数の推定

- ・労働と資本の投入から生産を推定する生産関数という方法があり、これは、議員定数の推定に応用できる。下記の式は、「人口10万人当たり議員定数であり、人口と面積と財政力指数のそれぞれの重みによって説明される」ということを意味する。

【式】 **人口10万人当たり議員定数 = 定数項 × 人口 α × 面積 β × 財政力指数 γ**

- ・議員定数を人口と面積と財政力指数から説明することは、直感的にも理解しやすい。議員定数は、面積が増大すれば相対的に増加すると予想されるが、人口規模が大きくなれば（あるいは財政力指数が高くなれば）相対的に減少することが予想される。
- ・この式は、対数に変換すると通常の実験式として表現され、Excelなどで α 、 β 、 γ という重みを計算することができる（ \ln は自然対数を示す）

【式】 **$\ln(\text{人口10万人当たり議員定数}) = \alpha \times \ln(\text{人口}) + \beta \times \ln(\text{面積}) + \gamma \times \ln(\text{財政力指数}) + \text{定数項}$**

上述の推定式に実際のデータを入力後、自然対数ベースの人口10万人当たり議員定数を推定し、人口を掛けて実際の議員定数を推定した。

過去の推定結果との比較（人）

		呉市の議員定数			議員定数 類団平均	人口(千人)		人口10万人当たり議員定数	
		実績	推定	実績-推定		類似団体平均	呉市	類似団体平均	呉市
①	2017年度データ	32	31.3	0.7	38.3	383	228	10.5	14.0
②	2018~2020年度 平均データ	32	30.7	1.3	36.8	361	218	10.9	14.7
③	2021年度データ	32	30.5	1.5	37.0	357	213	11.1	15.0
	③/①	1.0	0.97	2.14	0.97	0.93	0.93	1.06	1.07

① 合併経験のある中核市 30 団体 ② 合併経験のある中核市 37 団体 ③ 合併経験のある中核市 39 団体